

患者向医薬品ガイド

2025年11月更新

アネメトロ点滴静注液500mg

【この薬は?】

| | |
|-----------------|---|
| 販売名 | アネメトロ点滴静注液500mg ANAEMETRO Intravenous infusion 500mg |
| 一般名 | メトロニダゾール Metronidazole |
| 含有量 (1バイアル中) | 500mg |

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知りたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は?】

- ・この薬は、嫌気性菌感染症治療剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、嫌気性菌感染症および感染性腸炎の原因となる細菌を殺菌し、アメーバ赤痢の原因である原虫を殺虫します。
- ・次の病気の人に、医療機関において使用されます。

○嫌気性菌感染症

＜適応症＞

- ・敗血症
- ・深在性皮膚感染症
- ・外傷・熱傷及び手術創等の二次感染
- ・骨髓炎
- ・肺炎、肺膿瘍、膿胸
- ・骨盤内炎症性疾患
- ・腹膜炎、腹腔内膿瘍

- ・胆囊炎、肝膿瘍

- ・化膿性髄膜炎

- ・脳膿瘍

＜適応菌種＞

本剤に感性のペプトストレプトコッカス属、バクテロイデス属、プレボテラ属、
ポルフィロモナス属、フソバクテリウム属、クロストリジウム属、ユーバクテ
リウム属

○感染性腸炎

＜適応症＞

感染性腸炎（偽膜性大腸炎を含む）

＜適応菌種＞

本剤に感性のクロストリジウム・ディフィシル

○アメーバ赤痢

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人には、この薬を使用することはできません。

- ・過去にアネメトロ点滴静注液に含まれる成分で過敏症のあった人

- ・脳、脊髄に器質的な疾患のある人（化膿性髄膜炎および脳膿瘍を除く）

- ・妊娠3ヵ月以内の人

○次の人には、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

- ・血液疾患のある人

- ・化膿性髄膜炎のある人

- ・脳膿瘍のある人

- ・コケイン症候群の人

- ・心臓や循環器に障害のある人

- ・腎臓に障害がある人

- ・肝臓に障害がある人

- ・妊娠3ヵ月を過ぎた人

- ・授乳中の

○ショックやアナフィラキシー（冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失、全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき）、息苦しい）があらわれることがあるので、過去にアレルギーがあつた人や薬で過敏症のあった人は、医師に伝えてください。

○この薬には併用を注意すべき薬や飲食物があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

- ・この薬は注射薬です。

●使用量および回数

- ・使用量、使用回数等は、あなたの症状などにあわせて、医師が決め、医療機関

において注射されます。

[成人の場合]

通常、成人の使用量および回数は、次のとおりです。

| | |
|--------|--|
| 1回量 | 500mg |
| 注射する回数 | 1日に3回、静脈から20分以上かけて点滴されます。 難治性または重い感染症の場合は1日に4回点滴静注されることがあります。 |

[小児の場合]

通常、小児の使用量および回数は、次のとおりです。

| | | |
|---------------|--------|--|
| 嫌気性菌感染症、感染性腸炎 | 1回量 | 体重1kgあたり7.5mg。 難治性または重い感染症の場合は体重1kgあたり10mgまで増量されることがあります。 |
| | 注射する回数 | 1日に3回、静脈から20分以上かけて点滴されます。 難治性または重い感染症の場合は1日に4回点滴静注されることがあります。 |
| アメーバ赤痢 | 1回量 | 体重1kgあたり10mg。 症状により体重1kgあたり15mgまで増量されることがあります。 |
| | 注射する回数 | 1日に3回、静脈から20分以上かけて点滴されます。 |

・ただし、1回量は500mgまでです。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・中枢神経障害があらわれることがあるので、ふらつき、歩行障害（上手く歩けない）、意識障害（意識の低下、意識の消失）、構語障害（思うように発音できない、ろれつがまわらない）、手足のしびれなどの症状があらわれた場合には、ただちに受診してください。
- ・末梢神経障害（手足のしびれ、手足の痛み）があらわれることがあるので、異常を感じたら、ただちに受診してください。
- ・白血球減少、好中球減少があらわれることがあるので、定期的に血液検査が行われます。
- ・ショック、アナフィラキシーがあらわれることがあります。冷汗が出る、めまい、顔面蒼白、手足が冷たくなる、意識の消失、全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しいなどがあらわれたら、ただちに医師に連絡してください。
- ・肝機能障害があらわれることがあるので、定期的に肝機能検査が行われることがあります。
- ・アルコールを含む飲み物や食品は、控えてください。
- ・妊娠3ヵ月以内の人はこの薬を使用することはできません。

- ・妊娠3ヵ月を過ぎた人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれるることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

| 重大な副作用 | 主な自覚症状 |
|---|--|
| 中枢神経障害 ちゅうすうしんけいしょうがい | 頭の痛み、しゃべりにくい、手足のふるえ、集中力の低下、物事が思い出せない・覚えられない |
| 末梢神経障害 まっしゅうしんけいしょうがい | 手足のしびれ、手足の痛み、手足の感覚がなくなる、手足の力が入らない、物がつかみづらい、歩行時につまずく |
| 無菌性髄膜炎 むきんせいじゆまくえん | 発熱、頭痛、吐き気、嘔吐（おうと）、首のうしろがこわばり固くなつて首を前に曲げにくく |
| 中毒性表皮壊死融解症（TEN） ちゅうどくせいひょうひえしゆうかい しょう（テン） | 皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ |
| 皮膚粘膜眼症候群（ステイブンスジョンソン症候群） ひふねんまくがんしょうこうぐん（ステイブンスジョンソンしょうこうぐん） | 発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴つたものが多発する |
| 急性膵炎 きゅうせいしづいん | 吐き気、嘔吐、激しい上腹部の痛み、背中の痛み、お腹にあざができる、お腹が張る |
| 白血球減少 はっけつきゅうげんしゅう | 突然の高熱、寒気、喉の痛み |
| 好中球減少 こうちゅうきゅうげんしゅう | 発熱、寒気、喉の痛み |
| 肝機能障害 かんきのうしょうがい | 疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振 |
| QT延長 キューーティーえんちょう | めまい、動悸、気を失う |
| 心室頻拍（Torsade de pointesを含む） しんしつひんぱく（トルサード ド ポアントをふくむ） | めまい、動悸、胸の不快感、気を失う |

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

| 部位 | 自覚症状 |
|-----|--|
| 全身 | 発熱、突然の高熱、寒気、疲れやすい、体がだるい、力が入らない、食欲不振 |
| 頭部 | 頭の痛み、集中力の低下、物事が思い出せない・覚えられない、頭痛、首のうしろがこわばり固くなって首を前に曲げにくい、めまい、気を失う |
| 眼 | 目の充血やただれ |
| 口や喉 | しゃべりにくい、吐き気、嘔吐、唇や口内のただれ、喉の痛み |
| 胸部 | 動悸、胸の不快感 |
| 腹部 | 激しい上腹部の痛み、お腹が張る |
| 背中 | 背中の痛み |
| 手・足 | 手足のふるえ、手足のしびれ、手足の痛み、手足の感覚がなくなる、手足の力が入らない、物がつかみづらい、歩行時につまずく |
| 皮膚 | 皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、お腹にあざができる |

【この薬の形は？】

| | |
|----|--|
| 性状 | 無色～微黄色澄明の注射液 |
| 形状 |  |

【この薬に含まれているのは？】

| | |
|------|-----------------------------------|
| 有効成分 | メトロニダゾール |
| 添加剤 | 無水クエン酸、無水リン酸一水素ナトリウム、塩化ナトリウム、注射用水 |

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：ファイザー株式会社

(<https://www.pfizer.co.jp/pfizer/>)

メディカル・インフォメーション（患者さん・一般の方）

電 話：0120-965-485

受付時間：月～金9時～17時30分

（土日祝日および弊社休業日を除く）